

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:2022年2月9日

事業所名:児童デイサービスセンターan

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0		
	2	職員の配置数は適切である	5	0		職員が働きやすいよう職員配置の工夫に努めます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1	バリアフリーではない所がある。	お子さまや保護者様が快適に過ごせるよう、スペースの確保や備品の配置などにおいて、可能な限り工夫致します。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	1	非常勤職員の参加が難しい。	職員全体で業務改善が出来るよう努めてまいります。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	2		ホームページにて自己評価を公表している旨を職員全体で共有できるよう努めます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	0		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	研修や見学の機会を設けてくれている。	職員の方が意欲的に学びたい研修に参加できるように努めてまいります。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	1	複数人の職員でお子さまのアセスメントを行い、保護者にもニーズの聞き取りや現状の聞き取りなどを実施している。	現在実施しているアセスメントやニーズの聞き取りなどについてより充実していけるよう努めてまいります。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1		チームで活動プログラムを立案できるよう努めてまいります。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	0	できるだけ考慮するようにしている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	1		現在実施している個別活動と集団活動についてより充実していけるよう努めてまいります。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1	出来ない日もある。	職員間での情報共有に努めてまいります。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1	出来ない日もある。	職員間での情報共有に努めてまいります。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	1	年に2回のモニタリングを実施しており、保護者とも共有している。	年に2回のモニタリングを継続し、必要に応じてそれ以上のモニタリングが出来るよう努めてまいります。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5	0		

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	2	2	保護者に聞き取りをできるようにしている。学校と直接の連携は行っていない。	保護者を通じて学校からの申し出があればお子さまについての情報を共有しています。現在実施している内容を職員間で共有するとともに、より一層の連携に努めてまいります。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	2	いない。 2 医療的ケアが必要なお子さんを今年度受けていない。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	2	保護者に聞き取りをできるようにしている。	サービス担当者会議に出席する他、積極的に相談支援事業所などと連携できるよう努めてまいります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	3	対象年齢外。	
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2	必要に応じて。	法人内外を問わず、様々な機関と連携できるよう努めてまいります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	3		事業所の役割と目的として設定されておりませんが、anの個別の場面で身に付けたスキルを、地域生活場面へと段階的に広げていくことを視野に入れた取り組みを行って参ります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	1	出席できる時はしている。	参加できるよう職員体制を整理することに努めてまいります。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	0		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	1	少人数の保護者交流会を実施した。	親の会など、保護者様同士の交流の場の情報等を提供させて頂くよう努めます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	1		事業所での活動を紹介している事業所新聞や、法人の機関誌、親の会の活動などについて、必要に応じて周知するよう努めます。
	35	個人情報に十分注意している	6	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3		事業所の見学会を開催するなど地域に開かれた事業所作りに努めてまいります。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	0		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	0		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1	記録を共有しているが、事例集にはしていない。	ヒヤリハットの内容を終礼の中で共有し情報共有しているものを事例集にできるよう努めてまいります。